

季節のお茶会を楽しみましょう

関西女子短期大学
茶道部
担当教員
保育学科
宇津木 七実



連携先

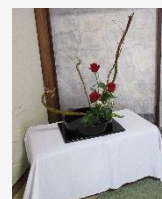
関西女子短期大学 保育学科

プログラム内容

10月29日、美葉祭で、日頃の練習の成果を、学園の教職員や地域の方々に披露しました。わざわざ立教館まで足を運んでくださるお客様が、居心地よく過ごせるように、立礼式の御園棚や座席を配置し、掛物や花入れを準備しました。お客様には、お点前を見ていただいたり、お抹茶を点てる体験をしてもらったりしました。部活では、和気あいあいと練習をしている学生たちですが、当日は、お世話になっている教職員の方々や、様々な年齢の地域の方々に、おもてなしをする心もちで、お点前や接客をしていました。

成果・考察

準備として、学生同士や講師の先生、顧問との打ち合わせを重ね、企画書を作成し、何をどのように準備したら、お客様に楽しんでいただけるかを考え、企画を練りました。当日は、お点前やお運び、受付などを部員全員で担当し、学園の教職員や地域の方々をお迎えしました。地域の方から、「昨年も来ました。楽しみにしてました。」と声を掛けられたり、ホームカミングディ(同窓会)にいられていた往年のOGから、当時のお話を聞かせてもらったりしました。お客様には、立教館での、秋の一時、和の時間、空間を楽しんでいただけたと思います。部員にとっては、日頃の練習で身につけた作法を、実践できる良い機会となりました。また、様々な年齢の方々とふれあうことで、他世代とのコミュニケーションについて学ぶ機会となりました。



体験用セット

立教館にて



日頃の練習の成果です



関西女子短期大学
保育学科
宇津木 七実 教授

自主練習では、「和菓子がおいしい」「皆のおしゃべりが楽しい」と、部活動を楽しんでいる学生たちです。講師で来ていただいている裏千家の高岸先生にも、茶道経験があるなしに関わらず各々の学生の力量に合わせ、丁寧に指導いただき、学園外でも茶道にふれる機会をいただいたりしているので、学生達は仲良く楽しく活動しています。

しかし、学園や地域の方々のためにお茶会をするとなると、自分たちが楽しむのではなく、おもてなしをする立場になります。お点前の練習には、より真剣さが増し、お客様のことを考えに入れた準備をしていくこととなります。日本の伝統について、改めて学ぶ機会ともなります。地域に開くことで、地域から学びを支援いただいています。



短大、大学の茶道部員と応援に来てくれたOG

準備や接客は大変でしたが、皆さんに喜んでもらえて、嬉しいです。これからも、練習に励みます。